

夏季企画展

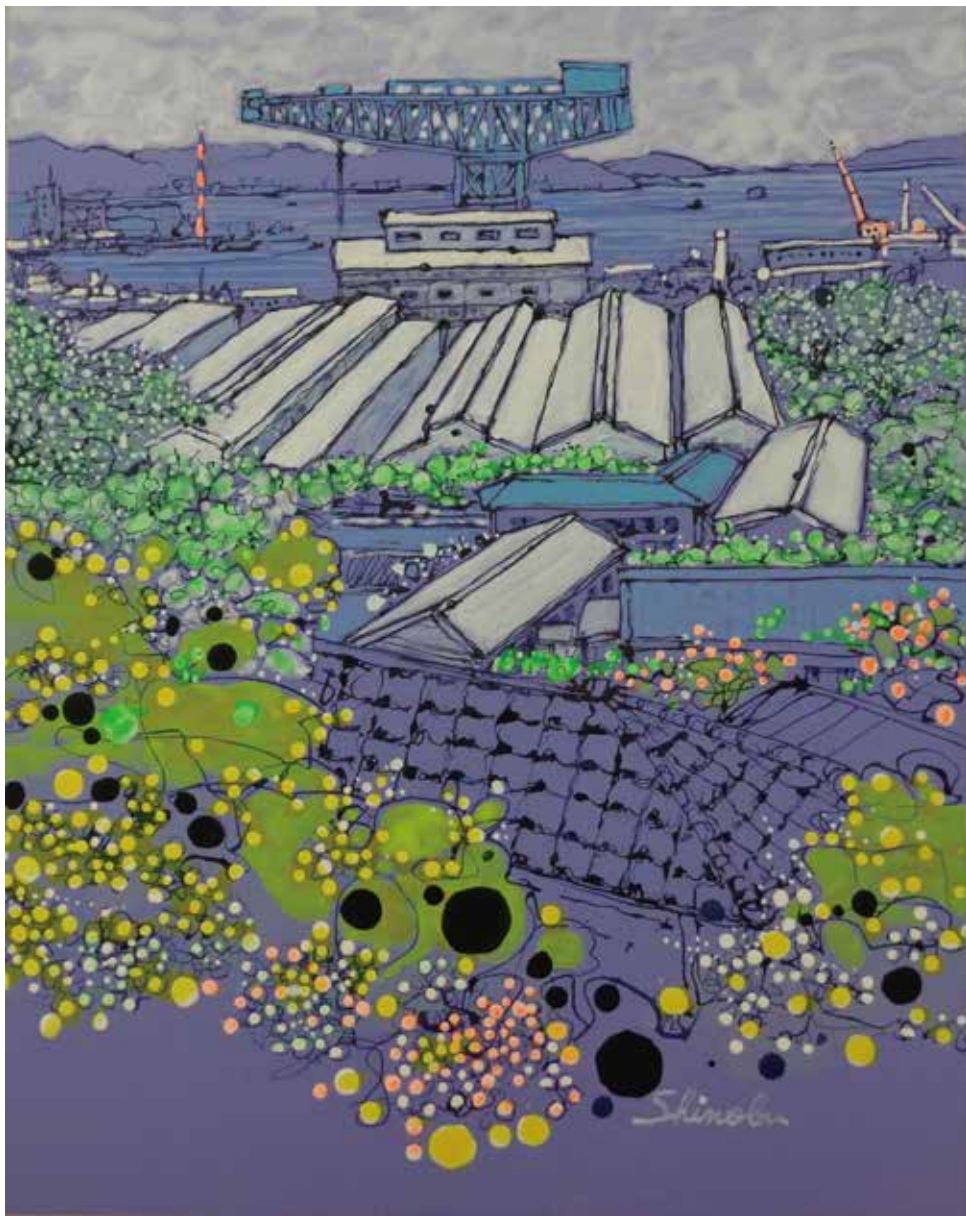
Juhachi-Shinwa Art Gallery Summer Exhibition

画家と街並み

市山時一郎没後30年

2024年
6.7
(金)

8.31
(土)



馬場 忍《SSK》2016年制作 水彩 P10号

十八親和アートギャラリーでは6月7日(金)から8月31日(土)まで、季節展示室と絵画展示室1、ホワイエに於いて、夏季企画展「画家と街並み」～市山時一郎没後30年～を開催いたします。

風景画の中でも根強い人気がある街並みは人の営みや地域の特色が色濃く反映され、それらと対峙した画家たちの視点や表現が見どころのひとつです。本展では、一陽会で活躍した澤田正太郎の《聖福寺伽藍》をはじめ、武田範芳の《坂道(東山手風景)》、畑農照雄の《天主堂のある風景》など長崎の街並みのほか、歴史ある欧州の街並みを主題とした作品をご紹介します。また本年が郷土画家・市山時一郎の没後30年の節目であることから、市山の《出津の聖堂》、《長崎の港》、《ラ・マンチャの集落》の3作品を特別展示いたします。油彩画、水彩画、版画による10作品をお楽しみください。

また、陶磁器展示室2に於いて、陶磁器小企画「現代陶工～多彩な表現」を10月26日(土)まで開催しているほか、近代洋画、日本画、陶磁器、ロシアアイコンなど約140点の常設展示も行っております。

※企画展の会期は、次回展の都合により変更する場合があります

馬場 忍(ばば・しのぶ):1937～。台湾生まれ。1946年佐世保市に引き揚げる。50年佐賀大学教育学部特設美術科卒業。長崎県立佐世保北高等学校などで美術教師を定年まで勤めた一方で、56年第1回長崎県展入選をはじめ、69年に初渡米しニューメキシコ州立美術館で個展開催など国内外で精力的に発表。アクリル画による抽象画や、水彩画による欧米や佐世保市内の風景画を多数描く。アルバカーキ市名誉市民賞、佐世保市政功労者表彰、公財亜細亜美術協会名誉理事。

十八親和アートギャラリー

鑑賞 無料

【開館時間】10:00～16:00(入館は15:30まで)

【休館日】日・月・祝日、年末年始(12/30～1/4)

※土曜日が祝日の場合は開館



長崎県佐世保市島瀬町4-24 十八親和銀行島瀬ビル1F TEL.0956-23-4856 西肥バス島瀬町バス停から徒歩3分、JR佐世保駅から徒歩約20分